

2013年
(平成25年)

4月 12月 11月 9月 8月 5月 4月

くにみ幼稚園が開園

除染や浄化センター汚泥の全量搬出などを強力に推進「東日本大震災復旧復興対策推進国見町民会議」を設置

生産自粛となったあんぽ柿再開の祈りを込めた「パーシモンキャンドルパーティー」を藤田駅前で開催

太田町政スタート

米の全量全袋検査を開始

公共施設の除染作業を開始

ホールボディ・カウンタによる検査を実施

国見小学校が開校

水田の吸収抑制対策を実施

食をテーマとした復興イベント「国見おもしろ再発見！」を開催

「3・11震災からの復興と希望の集い」を開催

2012年
(平成24年)

3月 12月 8月 7月

町除染支援事業組合を設立

生産者による果樹木の表皮洗浄を実施

自家用農作物などの放射能検査を実施

学校の校庭などの表土除去を開始

2011年
(平成23年)

3月

3月11日14時46分マグニチュード9.0巨大地震発生(東日本大震災)

県内でもいち早く仮設住宅の建設が進められた(町内4か所)

復旧復興 明日へ

2011▶2021



有限会社 佐久間工業
会長 佐久間 友一さん

これからも町のために協力していく

震災直後はまずライフラインの確保に奔走しました。自分たちが持っている機材を全部集めて発電機や仮設トイレを避難所に設置したり、建物倒壊や道路の陥没など危険箇所が多数あり通行止めの対応もしました。電話が使えなかったので町土木建設業協会員は毎日集まって打合せをしていました。

2日後にはマンホールが吹き上がり汚泥ポンプが必要になりました。近隣各所に問い合わせましたがなかなか見つからず、やっと見つかったのが神奈川県の子会社だったため緊急車両として高速道路を使い取りに行きました。水道はまだ止まっていて下水が上がるのがなかったのが幸でした。

仮置場が決まり除染作業にあたるため平成25年7月に町復興有限責任事業組合(平成24年3月に設立した町除染支援事業組合の後継)を町内16業者で組織しました。当時他県の除染作業員の悪い噂などもあったので町民のみなさんに安心してもらえるよう作業員は町内業者で身分証を必ず携帯させたり気を配りました。

振り返ればよくやってきたなというのが率直な感想です。これからも町のために私たちができることがあれば何でも協力していきたいと思います。



住宅の庭の除染作業



町除染支援事業組合設立総会



国見おもしろ再発見!



小学校で行われたホールボディ・カウンタによる検査



国見小学校が開校



廃棄する柿をキャンドルにした「パーシモンキャンドルパーティ」



急ピッチで進められた仮設住宅の建設



厳しい寒さの中、生産者自らが高圧洗浄機で果樹木の表皮を洗浄



東日本大震災復旧復興対策推進国見町民会議



食品の放射性物質を検査



出荷できずに廃棄される柿